

K社における、2008年1月～12月の年間医薬品順位（売上ベース）

順位	商品名	メーカー名	医薬品概要	医薬品詳細
1	ドゥーテストLH 7日分(排卵検査薬)	ロート製薬	検査薬	排卵検査薬
2	和漢箋(わかんせん) ロート防風通聖散錠 189錠	ロート製薬	便秘薬・浣腸	漢方便秘薬 錠剤
3	P-チェックLH 7日分(排卵日検査薬)	ミズホメディー	検査薬	排卵検査薬
4	錠剤 ミルマグ LX 240錠	エムジーファーマ	便秘薬・浣腸	漢方以外の便秘薬 錠剤
5	ネオビタミンEX 240錠	皇漢堂製薬	ビタミン剤	錠剤
6	ベクニスドラッグ錠 錠剤 140錠	近江兄弟社	便秘薬・浣腸	漢方便秘薬 錠剤
7	ナイトール85 360錠	小林製薬	便秘薬・浣腸	漢方便秘薬 錠剤
8	スミスリンL シャンプータイプ 80ml	ダンヘルスケア	皮膚の薬	毛ジラミ
9	3Aマグネシア 360錠	フジックス	便秘薬・浣腸	漢方以外の便秘薬 錠剤
10	養命酒 1L	養命酒製造	滋養強壯剤	滋養強壯剤 薬用酒
11	ユースキン(アイ) 110g	ユースキン製薬	皮膚の薬	しっしん・かゆみの薬.クリーム
12	フェイタス 35枚	久光製薬	肩こり・腰痛・筋肉痛	フェルピナク配合
13	ハイチオールC 180錠	エセス製薬	皮膚の薬	錠剤
14	命の母A 420錠	小林製薬	婦人薬	錠剤
15	イソジンうがい薬 250ml	明治製菓	口中薬	うがい薬
16	ハイチオールC プルミエール 120錠	エセス製薬	皮膚の薬	錠剤
17	スコルバ24 クリーム 15g	武田薬品工業	水虫の薬	水虫の薬 クリーム
18	ボラギノールM軟膏	武田薬品工業	痔の薬	痔の薬 軟膏
19	イトーの葛根湯エキス顆粒21包	井藤漢方製薬	風邪薬	総合風邪薬 顆粒・粉末
20	ボラギノールM坐剤 30個	武田薬品工業	痔の薬	痔の薬.坐薬
21	大洋ワンタッチ精製水(ポリ) 500ml	大洋製薬	日本薬局方	精製水
22	ハツモール内服錠 180錠	田村治照堂	抜け毛・フケ等	発毛促進剤内服
23	ユンケル黄芩液 30ml*10本	佐藤製薬	ドリンク剤	生薬製剤
24	P-チェックS 2回用(妊娠検査薬)	ミズホメディー	検査薬	妊娠検査薬
25	消毒用エタノール液 IP(P) 500ml	健栄製薬	殺菌・消毒	皮膚の消毒
26	コトキ浣腸40 40g*10個入り	ムネ製薬	便秘薬・浣腸	浣腸 40g
27	内服ボラギノールEP	武田薬品工業	痔の薬	痔の薬.内服
28	エフゲン 60ml	大源製薬	水虫の薬	水虫の薬 液体
29	デリケア M's 15g	池田模範堂	皮膚の薬	しっしん・かゆみの薬.クリーム
30	百毒下し 1152粒	翠松堂製薬	便秘薬・浣腸	漢方便秘薬 粒
31	コトキ浣腸30 30g*10個入り	ムネ製薬	便秘薬・浣腸	浣腸 30g
32	NFカロヤンガッシュ 240ml	第一三共ヘルスケア	抜け毛・フケ等	発毛促進剤ローション
33	イチジク浣腸40E 10コ入	イチジク製薬	便秘薬・浣腸	浣腸 40g
34	ヨクイニンS「コタロー」720錠	小太郎漢方製薬	皮膚の薬	内服
35	ナイトール85 180錠	小林製薬	便秘薬・浣腸	漢方便秘薬 錠剤
36	ナボリンS 90錠	エーザイ	ビタミン剤	手足のしびれ・神経痛(抹消神経障害)
37	イソジンウォッシュ 250ml	明治製菓	殺菌・消毒	皮膚の消毒
38	チョコラBBプラス 250錠	エーザイ	ビタミン剤	錠剤
39	百毒下し 2560粒	翠松堂製薬	便秘薬・浣腸	漢方便秘薬 粒
40	タマリンアイスプレー 80ml	大正製薬	水虫の薬	水虫の薬 スプレー
41	チョコラCCホワイト 180錠	エーザイ	皮膚の薬	錠剤
42	ボラギノールA注入軟膏 2g*30個	武田薬品工業	痔の薬	痔の薬.坐薬
43	半夏厚朴湯(1016) 24包	ツムラOTC	精神安定	顆粒・粉末
44	レンシン 56包	オノジユウ	痔の薬	痔の薬.内服
45	あせもローション 桃の葉の薬 100ml	千金丹ケアーズ	皮膚の薬	液体
46	強カグットA 260錠	東宝製薬	肝臓疾患	錠剤
47	ザ・ガード整腸錠 350錠	興和新薬	整腸剤	錠剤
48	ハイシー 1000 84包	武田薬品工業	ビタミン剤	顆粒・粉末
49	オムロン 妊娠検査薬 クリアブルー 2テスト入	オムロンヘルスケア	検査薬	妊娠検査薬
50	ネオサンブーン ルーブ錠	エーザイ	避妊具	膈錠

順位	商品名	メーカー名	医薬品概要	医薬品詳細
51	フェミニーナ軟膏S 30g	小林製薬	皮膚の薬	軟膏
52	ビュラック 400錠	皇漢堂製薬	便秘薬・浣腸	漢方以外の便秘薬 錠剤
53	ビーンスタークピュリファンP(次亜塩素酸ナトリウム) 3L	ビーンスターク・スノー	殺菌・消毒	器具の消毒
54	消毒用エタノール(消毒用アルコール)(P) 500ml	健栄製薬	殺菌・消毒	皮膚の消毒
55	ルチン養命丸 2250粒	養命製薬	高血圧	粒
56	アリナミンEXプラス 270錠	武田薬品工業	ビタミン剤	錠剤
57	紫雲膏 500g	松浦漢方	皮膚の薬	軟膏
58	ビタミンC「タケダ」300錠	武田薬品工業	ビタミン剤	錠剤
59	小太郎 漢方ニキビ薬 150錠	小太郎漢方製薬	皮膚の薬	にきびの薬・錠剤
60	ダイアフラジン軟膏 20g	内外薬品	皮膚の薬	しっしん・かゆみの薬 軟膏
61	ガスピタン 36錠	小林製薬	整腸剤	錠剤
62	紫雲膏 20g	松浦漢方	皮膚の薬	軟膏
63	アレルギール錠 110錠	第一三共ヘルスケア	皮膚の薬	錠剤
64	ビスラットゴールド(430カプセル)	原沢製薬工業	高コレステロール	高コレステロール
65	ヒビスコールS ポンプ付 500ml	サラヤ	殺菌・消毒	皮膚の消毒
66	チョコラBBプラス 180錠	エーザイ	ビタミン剤	錠剤
67	ボラギノールA坐剤 30個	武田薬品工業	痔の薬	痔の薬 坐薬
68	システィナC 210錠	第一三共ヘルスケア	皮膚の薬	錠剤
69	御岳百草丸 4100粒	長野県製薬	胃腸薬	粒
70	アネトン アルメディ鼻炎錠 90錠	ファイザー	鼻炎薬	鼻水の薬 錠剤
71	ボラギノールA軟膏	武田薬品工業	痔の薬	痔の薬 坐薬
72	マステゲンS錠 120錠	日本臓器製薬	貧血の薬	鉄剤 錠剤
73	コレステガード 90カプセル	エスエス製薬	高コレステロール	カプセル
74	ナンパオ 140カプセル	田辺製薬	滋養強壮剤	滋養強壮剤 カプセル
75	ボラギノールA注入軟膏 2g*10個	武田薬品工業	痔の薬	痔の薬 坐薬
76	コンドロパワーEX錠 270錠	皇漢堂製薬	肩こり・腰痛・筋肉痛	内服薬
77	ネオレバルミン錠 1000錠	原沢製薬工業	肝臓疾患	錠剤
78	アリナミンEXプラス 60錠	武田薬品工業	ビタミン剤	錠剤
79	ユースキン(アイ) ローション 130ml	ユースキン製薬	皮膚の薬	しっしん・かゆみの薬 液体
80	タイツコウ軟膏21g	メルスモン製薬	皮膚の薬	軟膏
81	強カトリコマイシンG 10g	第一三共ヘルスケア	皮膚の薬	軟膏
82	サクロフィール錠 100錠	エーザイ	口中薬	口臭
83	アスレットZクリーム 20mg	福地製薬	水虫の薬	水虫の薬 クリーム
84	アスコルビン酸 200g	健栄製薬	ビタミン剤	顆粒・粉末
85	ビタミンC末 クニヒロ 500g	皇漢堂製薬	ビタミン剤	顆粒・粉末
86	ネオビタホワイトプラス 180錠	皇漢堂製薬	ビタミン剤	錠剤
87	和漢箋(わかんせん) ロート防風通聖散錠 63錠	ロート製薬	便秘薬・浣腸	漢方便秘薬 錠剤
88	NFカロヤンガッシュ(無香料)140ml	第一三共ヘルスケア	抜け毛・フケ等	発毛促進剤ローション
89	チナンコーハイ 30個入	ムネ製薬	痔の薬	痔の薬 注入軟膏
90	タケダ漢方便秘薬 180錠	武田薬品工業	便秘薬・浣腸	漢方便秘薬 錠剤
91	ステリコット α 200包入	川本産業	殺菌・消毒	消毒綿
92	消毒用エタプラス 1000ml(手押しポンプ付き)	健栄製薬	殺菌・消毒	皮膚の消毒
93	ミルマグ液 600ml	エムジーファーマ	便秘薬・浣腸	漢方以外の便秘薬 液体
94	バルサン・SPジェット 100g	ライオン	殺虫剤	ダニ・ゴキブリ両用
95	アースレッドW 30-40畳用	アース製薬	殺虫剤	ダニ・ゴキブリ両用
96	ロートアイストレッチ 12ml	ロート製薬	目の薬	目のかすみ・目の疲れ用目薬
97	アスターG軟膏 16g	丹平製薬	水虫の薬	水虫の薬 軟膏
98	ビオフェルミンVC 120錠	武田薬品工業	整腸剤	錠剤
99	ビーンスタークピュリファンP(次亜塩素酸ナトリウム) 10L	ビーンスターク・スノー	殺菌・消毒	器具の消毒
100	コサジン ガーグル うがい薬 500ml	大洋製薬	口中薬	うがい薬

「検討部会」等における医薬品のインターネット販売に関する発言（抜粋）

改正薬事法、本省令の策定にあたり開催された検討部会、検討会における、適法な許可を有する薬局または店舗による「一般用医薬品のインターネット販売」の実態に対する誤解、ならびに適法な販売と個人輸入代行、未承認医薬品および違法ドラッグ等のインターネット販売とが混同されているとみられる発言等について、以下まとめる。（下線は当協会による。）

厚生科学審議会医薬品販売制度改正検討部会

全 23 回（平成 16 年 5 月 14 日～平成 17 年 12 月 18 日）

04/05/14 第 1 回議事録より

議題

1. 部会長選出及び部会長代理指名について
2. 医薬品販売制度の現状と課題等について

児玉委員

（略）医薬品の供給体制は今も IT 化もあってインターネットを使ってみたり、また週刊誌で売られたり、果てはいったい医薬品なのか、薬なのか、食品なのか、国民の立場に立てば本当によく分らない。ましてやその一方で、分らないうちに数年前に不幸にも中国茶で、食品で亡くなられた方もある。本当にこれは国民の立場からすれば堪らないことでもありますね。そういう現状をやはりしっかりとまず確認する、この作業は私は一番やるべきことかなという気がします。

04/06/23 第 3 回議事録より

議題

1. 医薬品販売制度の現状等について
2. 論点整理等について

児玉委員

（略）それと 7 番目のその他であります、インターネット・カタログ販売という問題が書かれておりますが、それ以外に昨今非常に問題になっておりますのが、医薬品の個人輸入で、本来は例えば私どもの概念から言えば、医師の先生方が日本ではまだ未承認医薬品だが、患者の為に緊急に輸入する必要がある際に利用する、本来はそういうものであります、どうも最近では医薬品の個人輸入の悪用が目立っている感じがします。これも広い

意味での供給体制の新しい最近の事象かなという気がしますので、そのへんも議論の対象になっていいのかなと思いました。 (略)

04/09/06 第5回議事録より

議題

医薬品のリスクの程度の評価と情報提供の内容等について  
(論点整理の検討項目1及び2(1)等)

井村部会長

ありがとうございました。今、参考資料(厚労省通知「医薬品のインターネットによる通信販売について」)についてのご説明がございましたが、あまり時間を取りたくないんですが、特にここで何かご質問はございますか。

(略)

005/05/20 第14回議事録より

議題

「医薬品販売における情報通信技術の活用等」について

荻原専門委員

私は今までのこの議論をずっと聞いていまして、自分も先生と同じ年なので(笑)、要するに、このインターネットとかメールといった新しい技術の情報、ホリエモン育ちがやっているやつですね、ああいうのを果たしてユーザーのどのくらいのパーセントの人が理解できて使いこなせるかというのは、ものすごく疑問ですね。せいぜい10%いけば御上々だと思います。私なんかは古い人間ですから、じいさん、ばあさん、本当に必要な人たちが使う場合には、基本的にはやはり昔ながらの対面で説明をきちっとする方が重要になると思うので、方法論が広がることは僕は否定しません。けれど、それがすべてのようなふう  
に持っていかれると非常に疑問に思いますね。

(中略)

増山委員

ああ、そうですか。はい。私自身が、例えば中には外出が困難な方とかもいて、インターネットからの情報がすごく重要だと言う人もいて、そういうケースもあると思うのですが、ただ、気をつけなければいけないのは、例えば健康アンケートみたいになって、「こんなこと気になりませんか」とかいつてチェックしていくと商品が送られてくるみたいな、そういうことになるとうごく問題で、もしかしたら気がつかないでそういうことも起きているのかもしれないのですが、その情報はだれが責任を持つのかということ、もし情報提供するのであれば、それも確保しなければいけないのかなと思います。

議題：関係団体等からのヒアリング

「医薬品販売における情報通信技術の活用等」について

織田（大阪府健康福祉部薬務課）（意見陳述人）

（略）また、先ごろ我が国でも非常に問題になっております健康食品ですが、医薬品成分を含む健康食品ですが、この健康被害を見ますと、ネットサイトからの購入ということが、私どもとしては非常に気になっています。これは健康食品だけではなく、医薬品の中でもこういうネットサイトから海外から直接購入するという、あるいは個人代行輸入によって購入するというケースがあります。むしろこの問題の方が非常に大きな問題ではないかと考えます。医薬品に対する人々の信頼を保つためには、許可に基づく店舗からの供給という現在の原則というものはやはり正しいことではないかなど、健康食品の関連、あるいは個人代行輸入、ネットサイトからの医薬品の購入を見ますと、そのように感じます。

（中略）

事務局

（略）インターネット販売及びカタログ販売と個人輸入とに分けてございまして、（中略）それぞれ共通して考えられるのが、専門家による情報提供の機会や内容が少ない、そういうものが余り期待できないのではないかとということでございます。

（中略）

井村部会長

ありがとうございました。

それでは、委員の皆様方から御意見を賜りたいと思います。特にポイントは決めないで御意見を賜りたいと思います。インターネット販売、カタログ販売、個人輸入につきまして、何となく感じとしては、ない方がいいなという感じをもちろん皆さんお持ちなのではないかと思いますが、いかがでございましょうか。

児玉委員

今度こそ大山委員にお聞きしたいぐらいであります。この点につきましては前に私も資料を出したわけでありまして、はっきり申し上げて、カタログ販売の範囲というのは決められておりますが、それが全く形骸化しているというのが実情でございます。それどころか、どう考えても自殺を目的とするような、今それは非常に社会問題になっていますが、そういう薬剤までも平気で売られているという実態は、皆さん御承知のとおりですね。

加えて、数年前に、例のやせ薬と称した中国のお茶は、結局、医薬品成分が入っていますから、あれで随分お亡くなりになった、そのことが生かされずに、今回また同じような事件を起こしているという実態でありますから、何とか歯どめをおかけいただきたいと思います。

これは個人輸入とは別々とはいいながら、どちらも同じケースが多いですね。個人輸入

も、専門家が自分の判断でと、本来はここに書いてあるとおりなんです。ところが、医薬品に関してはこれも全く形骸化されているという状況でありますので、そこで先ほど申し上げたように、このシステムである程度の部分は供給はやむを得ないと思いますが、その実態を押さえつつ、そういうことが管理できないのか。例えばある特定の医薬品についての管理はできないのか。あるいは、よく増山委員がおっしゃるように、一方通行でありますから、逆に副作用の出所などの管理も全くできない。そういうところはどうかでしょうね。

増山委員

インターネット販売、カタログ販売、あるいは個人輸入でもそうなんですが、受け取る際にそれを、輸送ではなく、きちんと専門家の、例えば薬店とか一般販売の窓口でそれを受け渡して説明を受けるような形にできないかなということを考えています。

それから、特に個人輸入の販売方法についてですが、近年、サリドマイド剤が未承認薬のまま大量に国内に流通したということで、マスメディアでも随分騒がれていると思いますが、その中で本当に深刻な問題としてあるのが、未承認薬が個人の輸入という形でどんどん入ってくるのが、以前はインターネットを利用して購入するということはそれほど一般的ではありませんでしたが、今はネットを使ってそういう情報を入手して購入するというのが、以前に比べてずっと容易にもなったと思います。

そういうことを踏まえると、私自身は、未承認なのに個人の輸入だったら買えてしまうということであれば、最終的には、医薬品の登録制度そのものを揺るがすような事態にもなりかねないと思っているので、これはきちんと個人輸入という形を認めるのであれば、必ず病院等を通して、その中で医者から診察を受けた上で輸入するという形をとるというような、全くの個人任せではない形に改めるべきだと感じています。

(中略)

児玉委員

今のお話のように、大変難しいのはわかるのですが、しかし、現実はそので消費者は大変な目に遭っているわけですから、何とかしてもらわなければいけない。

そこで、私は不勉強かもしれませんが、この前、国の方針として、自殺サイトとか爆弾の製作とかということで、今、インターネットによるいろいろな社会問題が起こっている。それを踏まえて、国として、この秋をめどに何か検討するというのを聞いていますが、それはインターネットを使ったいろいろなものの供給全般だと聞いていますけれど、その中にはこの問題は提起できるのでしょうか。

05/07/08 第16回議事録より

議題

第11回から第15回までの部会における意見のとりまとめについて

井村部会長

それは皆さんよく理解できているところだと思います。ありがとうございます。

それでは、「インターネット販売やカタログ販売、個人輸入」、「特例販売業」、こういう例が出てきております。これにつきましては、インターネット販売、カタログ販売、個人輸入、何らかの対策を講じるべきであるという御意見が圧倒的に多かったと思いますので、これはこれでよろしいでしょうか。

05/09/14 第17回議事録より

議題

1. 今後の検討の進め方について
2. 第11回から第15回までの部会における意見のとりまとめについて
3. 医薬品のリスクの程度の評価

児玉委員

今の増山委員の御発言をお聞きしていて、先ほど私は、この対応イメージを議論する上で、とりあえず原則的なイメージとして、店頭で対応するという意味ですと私は申し上げたと思います。ですからここで議論しているわけでありまして、これが煮詰まってきた時点で、だれが安全性に責任を持って供給するのか、どのように供給するのかということを見ながらもっと詰めていく段階で、そのときに、では、店頭外における、特に今社会的に問題になっているインターネット、個人輸入、この問題を解決してもらわないと、幾ら店頭によってきちっとした供給の安全性を担保していても、一方で無制限では意味がないじゃないかと。率直に申し上げて、そういうことをおっしゃっているわけですね。

「医薬品の販売等に係る体制及び環境整備に関する検討会」

全8回（平成20年2月8日～平成20年7月4日）

08/03/13 第3回議事録より

議 題

1. 情報提供等を適正に行うための販売体制
2. 医薬品販売業者及び管理者の遵守事項等
3. その他

○児玉委員

（略） いまのインターネット販売は、国内より国外のほうがむしろ多いのが現状だと思うのです。

その中で、いくらいろいろなことを考えても、本当にその実効性が非常に難しいというのがある。その最たるものが、最近マスコミに出ていますように、偽薬の問題です。かなり世界的にも多くの方が亡くなっているわけです。こういう現状を考えれば、私はカタログ販売というのが平成7年にあったとしても、もうこの時期、見直すべきである。したがって第一であろうが、第二であろうと、第三類であろうと、医薬品というのはリスクの程度はあっても、リスクはあるわけです。そういう意味では、原則として医薬品は現状を考えれば、情報通信技術を考えれば、それを通じた販売はすべきではないというのが原則論かなという気が私はしますね。第一類は薬剤師ですからもとよりですね。

08/03/25 第4回議事録より

議 題

1. 情報提供等を適正に行うための販売体制
2. 医薬品販売業者及び管理者の遵守事項等
3. その他

○井村座長 情報通信技術は何に当たるのかということも、また問題があると思うのですが、部会のとよからの考え方としては、一応やはり現在の情報通信技術を使つての販売は、原則的には認めるのは時期尚早ではないかという意見が支配的であつたと私は記憶しております。ここでは、四角の中に丸が5つ付いております。こういったことがまだ残っているということなのだろうと思います。それを議論していかなければならないと。

○足高委員 現実問題として、もう上場企業が出ているわけですよ。インターネット通販で医薬品を販売して、マザーズとはいへ上場してしまった企業も、もうあるわけですよ。コンプライアンスの問題があるから、いま第2番手、3番手がとどまっている状況であるわけですね。今度、新改正薬事法は、いままでの一般販売業など、4種類あつた販売形態が整理されて、店舗と配置と、きちつと規定されたわけで、いままでとはまた法体系が変わつ